



平成21年10月27日

各位

会社名 サンケン電気株式会社  
代表者名 代表取締役社長 飯島貞利  
コード番号 6707 (東証 市場第一部)  
問合せ先 執行役員IR室長 太田 明  
TEL (048)487-6121

## CCFL (冷陰極蛍光放電管) 事業の構造改革に伴う特別損失の発生、 業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、CCFL事業における構造改革の実施等につき決定いたしました。本構造改革の内容及び実施に伴う特別損失の発生につき、下記の通りお知らせいたします。また、第2四半期業績予想の修正及び配当予想の修正につきましても、併せてお知らせいたします。

記

### 1. CCFL事業の構造改革

#### (1) 構造改革実施の背景並びにその理由

昨年秋以降の世界同時不況から、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、前第4四半期を底に回復傾向にあり、当社グループにおいても、一部製品では前年同期を上回る水準まで回復しております。しかしながら、CCFL製品においては、海外メーカーのシェア拡大による競争激化から価格が急落し、また、液晶パネルに使用するCCFL本数の減少に伴い、販売数量が減少しております。加えてLEDのバックライト化が急速に展開するなど、CCFL事業は極めて厳しい状況での推移となり、グループ全体の業績に大きな影響を及ぼしております。

既に当社では、本年2月の取締役会において緊急対策の実施を決議し、大規模な人員削減などを実施してまいりましたが、CCFL事業では、想定を超える市場売価の下落など、今後も厳しい状況が続くものと考えられます。かかる事態に対応すべく、当社グループでは当事業における構造改革実施により、早期の事業再生を図ることが妥当であると判断いたしました。

#### (2) 構造改革の概要

##### ① 生産体制の縮小

CCFLの生産体制を、月産30,000千本から適正規模である20,000千本まで縮小します。

##### ② 人員規模の縮小

上記①の生産体制縮小に伴い、CCFL事業にかかる人員を配置転換し、LED製造ラインまたは半導体デバイス製造ラインの経営資源として注入いたします。これにより、当事業の人員体制を約25%縮小します。

##### ③ 固定費及び変動費の削減

生産体制及び人員規模の縮小により、下半期に約16億円の固定費削減(当上半期比)を見込み、また、外注作業の内部取込みにより、下半期に約1億円の変動費削減を見込みます。

### 2. 特別損失の計上

固定資産の減損に係る会計基準に則り、主にCCFL事業における機械装置等の固定資産に減損の兆候が認められることから、この回収可能性を検討した結果、当第2四半期連結決算において当該資産の帳簿価額97億円を減損することとし、特別損失に計上する予定です。

なお、減損実施により、今後対象設備にかかる減価償却費が発生しないことから、下半期で約14億円の減価償却費削減を見込みます。

### 3. 第2四半期業績予想の修正

#### (1) 平成22年3月期第2四半期 連結業績予想の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A) (平成21年8月10日発表)	百万円 63,000	百万円 △5,000	百万円 △5,400	百万円 △5,400
今回修正予想(B)	61,600	△7,700	△8,300	△18,700
増減額(B-A)	△1,400	△2,700	△2,900	△13,300
増減率(%)	△2.2	—	—	—
<ご参考>前年同期実績 (平成21年3月期第2四半期)	89,730	4,141	3,332	1,925

#### (2) 平成22年3月期第2四半期 個別業績予想の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月8日発表)	百万円 47,500	百万円 △5,800	百万円 △6,500	百万円 △6,600
今回修正予想(B)	43,900	△7,700	△8,100	△11,300
増減額(B-A)	△3,600	△1,900	△1,600	△4,700
増減率(%)	△7.6	—	—	—
<ご参考>前年同期実績 (平成21年3月期第2四半期)	68,561	1,210	950	480

#### (3) 修正の理由等

CCFL事業における収益の大幅な悪化、並びにこれに伴う固定資産減損による特別損失の発生等を踏まえ、当第2四半期累計期間における連結及び個別の業績予想を上記の通り修正します。なお、通期の業績予想につきましても修正を見込んでおりますが、公表につきましては、平成21年11月4日の第2四半期決算発表時を予定しております。

### 4. 配当予想の修正

#### (1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想(平成21年8月10日)	3円00銭	3円00銭	6円00銭
今回修正予想	0円00銭	未定	未定
当期実績	—	—	—
前期実績(平成21年3月期)	7円00銭	3円00銭	10円00銭

#### (2) 修正の理由

当社では、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要施策の一つと位置付け、収益力の向上と財務体質の強化を通じ、安定かつ着実な配当の実施を図ってまいりたいと考えております。しかしながら、CCFL事業における特別損失の発生並びに第2四半期業績予想等を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、第2四半期末配当予想につきましては、無配とさせていただきたく存じます。また、期末配当予想につきましては、先行き不透明な外部環境並びに特別損失発生による通期業績への影響など、現時点で合理的な算定が困難であることから未定とさせていただきます。

以上

※ 上記の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。